

[国際戦略総合特区分野]
総合特別区域評価・調査検討会における評価結果

令和6年度

アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区

[指定：平成23年12月、認定：平成24年3月]

I 目標に向けた取組の進捗に関する評価

i)、ii)の平均値 ※『-』とされている箇所については平均値計算から除外

3.7

i) 取組の進捗

目標値に対する実績に基づく進捗度(当年度実績)

番号	評価指標	進捗度	評点
1	評価指標(1) 中部地域における航空宇宙産業の生産高	80%	4
2	評価指標(2) 中部地域における航空機・部品の生産高	72%	3
3	評価指標(3) 中部地域における航空宇宙関連輸出入額	61%	3
4	評価指標(4) 中部地域における航空宇宙関連の工場等の新增設件数	175%	5

評価指標毎の進捗の評価の平均値

$(5 \times 1 + 4 \times 1 + 3 \times 2 + 2 \times 0 + 1 \times 0) / 4 = 3.8$

3.8

※1) 1つの評価指標に複数の数値目標がある場合は、各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均する。
(例) 評価指標1について、a、b、cという3つの数値目標があり、各数値目標の評点・寄与度がa:5・20%、b:4・10%、c:3・70%の場合、 $5 \times 0.2 + 4 \times 0.1 + 3 \times 0.7 = 3.5$ で、四捨五入して評価指標1の評価は「4」となる。

※2) 数値目標○は複数の数値目標があり、※1のとおり各数値目標の評価を寄与度に応じて加重平均しているため、進捗度と評点が一致しない。

■ 地方公共団体による特記事項

※外部要因による数値への大幅な影響等があれば記載

ii) 取組の方向性に対する評価

専門家による評価の平均値

3.5

II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況に関する評価

i)、ii)、iii)の平均値 ※『-』とされている箇所については平均値計算から除外

4.2

i) 規制の特例措置を活用した事業等の評価

専門家による評価の平均値

4.5

ii) 財政・税制・金融支援の活用実績の評価

専門家による評価の平均値

4.0

iii) 地域独自の取組の状況の評価

専門家による評価の平均値

4.0

Ⅲ 取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決に関する評価

(専門家所見(主なもの))

3.7

・航空宇宙産業の集積と生産能力の拡充に取り組み、引き続きアジア最大・最強の航空宇宙産業クラスター形成を目指すことを期待したい。外部環境にも大きく影響を受けるため進捗管理は自主的な取組だけでは難しい面もあり、その点も考慮した。

・評価指標の数値目標が、「令和元年度実績まで回復」となっているにもかかわらず、毎年度の目標値がその額であるというのは本来おかしいのではないかと。全体的に過ぎず上昇しており、効果が認められるものの、数値目標の設定の仕方のために、その経過が分かりづらくなっている。税制支援の説明箇所(9ページ)であるが、件数1にもかかわらず、当該年度に該当のない事業についても記載がある点に違和感がある。②-1の記載のみでよいのでは。同様に金融支援についても、該当箇所の③-2のみの記載でよいと思われる(③-1及び③-3は活用事例なしのため)。

・地域全体の協力体制や制度活用による環境整備は高く評価されるが、数値目標の遅れと外部依存性が課題と思われる。

専門家による評価(専門家の総合的な所見)の平均値

3.7

総合評価

I、II及びⅢを1:1:2の比率で計算 $(3.7+4.2+3.7 \times 2) \div 4 = 3.8$

3.8

(注)評価に係る評点及び表記の考え方については以下のとおり。

・評価は5～1(評点)で行う。

・進捗度は、100%以上を5、80%以上100%未満を4、60%以上80%未満を3、40%以上60%未満を2、40%未満を1とする。

・進捗度以外の評価項目における評点は、5:著しく優れている、4:十分に優れている、3:適当である、2:適当であると認めるには不十分である、1:適当であると認められないとする。